



～紫式部と源氏物語の道をたどる～

壺の道

紫の道

奥琵琶湖船上遊覧と紫式部が辿った道
— 深坂古道 — を歩く

開催のご案内

●開催日:平成20年

11月9日(日)

雨天決行(ただし、荒天時は別コースとなり、深坂古道へは参りません)

- ・集合場所 琵琶湖汽船「大津港」
- ・受付 8:00~/出港 8:30

●参加費:おひとり **2,000円**(子ども同額)
(参加費用には船・バス・電車代・昼食代・保険料を含みます。)

●参加資格:どなたでもご参加できます(小学生以下は保護者同伴)。
※深坂古道は約2時間程度の山道を徒歩で行きます。
ご参加にはご自分の健康状態をご考慮のうえ、お申し込みください。

●定員:100名

●主催:紫の道推進委員会(大津商工会議所内)

大津商工会議所では、地域に眠る貴重な観光資源を発掘し、そこから新しいビジネスチャンスを実現化する事業「中小企業庁:平成20年度地域資源∞全国展開プロジェクト」実施の採択を受け、紫の道推進委員会を立ち上げました。また本年は、源氏物語が書き起こされてちょうど千年といわれる記念の年。本所は巡り合わせともいえるこの機会に、近隣に点在する源氏物語や紫式部ゆかりの地を、琵琶湖を介して結ぶ新たな観光ルート“源氏湖道”を選定しました。そして、そのルートをより親しみやすいブランドイメージとするためのカラー(色)にこだわりました。それが“紫の道”なのです。

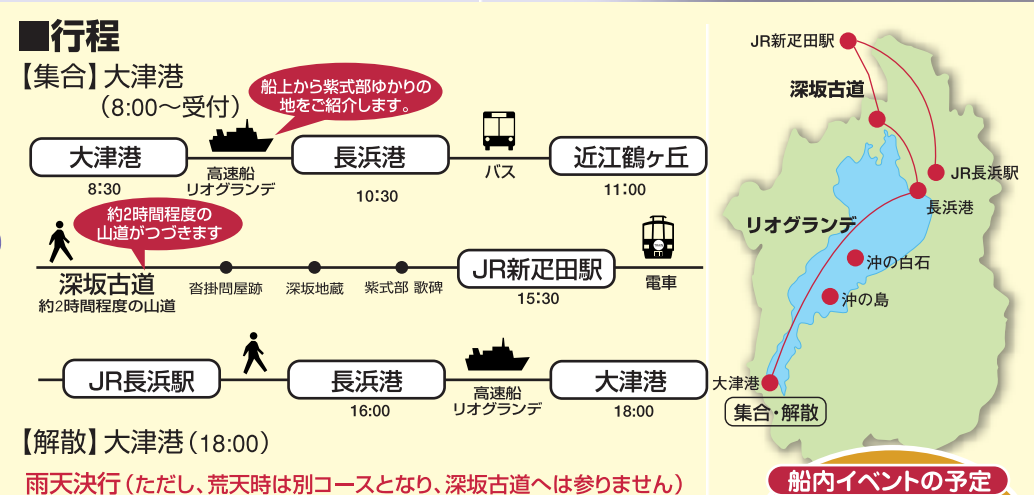
今回は紫の道シリーズ企画第1弾として壺の道“紫の道・奥琵琶湖船上遊覧と紫式部が辿った道—深坂古道—を歩く”を開催します。紫式部が若狭への道中通ったとされる「深坂古道」を歩いて訪ねる、まさに紫式部の旅路を再現したコースです。

募集締切
平成20年
10月31日(金)必着
100名様
(応募者多数の場合は抽選)



みんなで残そう 源氏物語の草花

紫草をはじめ、源氏物語に登場する草花の中には絶滅危惧種として指定を受けているものも少なくありません。源氏物語を読む次の千年の人たちにもこうした草花を愛で、同じ感動を味わってほしい、そんな思いから、ご参加くださった皆様の善意による植樹の募金を始めることといたしました。どうぞご協力ください。植樹は紫式部がかつて若狭(福井県)へ旅立ったとされる『打出の浜』(大津市打出浜)を予定しています。



船内イベントの予定

紫の道湖上シンポジウム
~いのち 紫式部からのメッセージ~
ダイジェスト版の上映、ヨシ笛の演奏など

【お問い合わせ先】
紫の道推進委員会(大津商工会議所内)
〒520-0806 大津市打出浜2-1 コラボしが21 9F
TEL. (077) 511-1500 FAX. (077) 526-0795

吉の道“紫の道・奥琵琶湖船上遊覧と紫式部が辿った道-深坂古道-を歩く”のみどころ



深坂古道

近江の塩津と越前の敦賀を結ぶルートとして栄えた「深坂古道」。古来は「深坂越え」といわれ、標高370mの深坂峠を越える難所でありながら多くの人々に利用されてきました。後に他の交通路の発展により深坂越えは衰退しましたが、それゆえに今でも古道の風情が残ります。



沓掛問屋跡

塩津から古道を歩き始めてすぐ、川沿いの大きな石垣が「沓掛問屋跡」です。敦賀から馬で運ばれた荷物は一度この問屋に降ろされ、塩津から迎えにきた馬に乗せ替えていました。馬も疲れてしまうほど険しい道だったことがうかがえます。



深坂地蔵

平安末期、平清盛の命で運河工事が行われましたが、石工が次々と腹痛を起したことから工事を中断。すると掘った場所からお地蔵様が現れ、この場所に安置されたと伝わります。塩を供えて道中の安全を祈願したことにちなみ「塩かけ地蔵」とも呼ばれています。



紫式部歌碑

『知りぬらむ往来にならず塩津山世に経る道はからきものぞと』今から一千年も昔、後の「源氏物語」の著者である紫式部が、父に連れられてこの道を通った際に詠んだ歌です。「世の中というのはこの道のように厳しいものですよ」と詠んでいます。

お申込み方法

下記の申込書に必要事項をご記入いただき、紫の道推進委員会宛 **FAXまたは郵送**でお申し込みください。お申し込み受付後、ご請求書をお送りしますので、11月5日までに、指定口座へお振込ください。

(ご注意)

- ※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- ※お振込いただいた参加費用は、中止の場合を除き、払い戻しはできません。
- ※深坂古道は約2時間程度の山道を徒歩で行きます。ご参加にはご自分の健康状態をご考慮のうえお申し込みください。
- ※参加者の皆様にはモニターとしてアンケートにご協力いただきます。

お申し込み
締め切り日

平成20年
10月31日
必着

お申し込み/ お問い合わせ先

紫の道推進委員会（大津商工会議所内） 担当：富江・藤本・田中・矢嶋
〒520-0806 大津市打出浜 2-1 コラボしが21 9F
TEL 077-511-1500 FAX 077-526-0795 業務時間：月～金 9：00～17：10

吉の道“紫の道・奥琵琶湖船上遊覧と紫式部が辿った道-深坂古道-を歩く”お申し込み書

紫の道推進委員会 宛

FAX : 077-526-0795

申込日
平成20年 月 日

申込者氏名		性別	男 ・ 女	年齢	
申込者住所	〒				
TEL	()	携帯電話	()		

※申込者以外にご参加の方がおられる場合は、以下もご記入ください。

参加者氏名		性別	男 ・ 女	年齢	
参加者氏名		性別	男 ・ 女	年齢	
参加者氏名		性別	男 ・ 女	年齢	
参加者氏名		性別	男 ・ 女	年齢	
参加者氏名		性別	男 ・ 女	年齢	

※ご記入いただきました個人情報は、本ツアーのご案内以外には、本人様の許可なく使用いたしません。